

ガンバートル、ボロルマー

夫妻

ガンバートル、ボロルマー夫妻は、モンゴルの自然や文化を素材とした絵本を日本で多数出版している作家です。

ともにモンゴル文化芸術大学を卒業し、日本の文教大学で絵を学びました。現在は、日本を拠点に共同で絵本の制作活動をしています。

日本の野間国際絵本原画コンクールグランプリ、イタリアのボローニャ国際絵本原画展入選（ボロルマー）するほか、「モンゴル大草原 800年」「らくだのおやこ」（福音館書店）など30冊余りの本・紙芝居を日本、モンゴル、中国、台湾、韓国、フランス、スウェーデン、デンマーク、カナダ、ベネズエラで出版しています。

「トヤのひっこし」（福音館書店）は厚生労働省社会保障審議会による特別推薦児童福祉文化財に選出されました。



白い馬の会

「白い馬の会」は仙台を中心に国際交流と異文化理解を深めることでモンゴル文化をより多くの人々に紹介することと、モンゴル文化が受け継がれるように、子どもたちにモンゴルの絵本紹介及び制作を目的としています。「白い馬」はモンゴル人にとって幸運のシンボルであり、友でもあることに因んで当会の名称としました。

近年、人口減少と政策によって、モンゴル人の生活環境が大きく変化してきました。特に、内モンゴル人が母語を失う危機に直面しています。長い歴史を持つモンゴル文化に一人でも多くの理解者を増やすことが当会の役割の一つと考えます。また、幼児期から母語を話すことができ、その年齢にあった絵本があれば、母語を受け継ぐことになるだろうとの願いを込めて、絵本にかかわる活動もしていきたいと考えています。

代表：藤井珠央